

会 議 記 録 書

件 名	平成30年度 第7回さむかわ次世代経営者研究会
日 時	平成30年10月25日 15:00～17:10
場 所	株式会社 リガルジョイント (相模原市南区大野台1-9-49)
出席者	別紙出席者名簿のとおり
議事録	<p>1. 開会</p> <p>2. 株式会社リガルジョイント 代表取締役 稲場 純氏 講演 事業概要については、社名の由来や顧客数・売上の大手比率・売上高・製品分類別売上比率について説明があった。 事業内容については、①流体機器事業②受託製造事業③環境事業を主に 行っている。</p> <p>① 流体機器事業については、流量計をはじめ流体関連機器の設計・製造・販売・サポートを行っている。</p> <p>② 受託製造事業については、ユニット組立・パイプ加工・各種溶接・精密板金・特殊加工処理を行っており、受託後協力事業所へお願いしている。</p> <p>③ 環境事業については、二次汚染がなく強力な酸化力を持つオゾンを利用した脱臭・殺菌・浄化・脱色システムの開発を行っている。また、新規事業として、2006年から熱交換器の設計開発を開始し、家庭用燃料電池で採用された。その他に空調メーカー・熱処理メーカーへ販路を拡大中。</p> <p>事業承継への取り組みとしては、①事業の変革②風土（意識）改革③経営権の継承を行った。</p> <p>① 事業の変革は、新しい事への挑戦として新規事業の確立に伴い半導体分野以外の市場開拓や在庫・原価・品質等の管理体制の強化、中期計画・年度計画・月次計画など予実管理を導入した。 →結果10年前までの売上比率は90%が半導体業界10%その他だったのが、現在は60%半導体分野、家電分野18%、工業分野10%工業分野、その他12%となった。</p> <p>②風土改革としては、合宿での幹部研修・朝礼にて理念の共有、従業員満足度調査、新卒採用、幹部・主任・若手ごとの階層別教育、気付ける人の育成など行っている。</p> <p>③経営権の継承としては、仕組債・不良在庫・未回収金・有給資産などの過去の整理を現在も行っている。 また、後継者としての勉強として、相模原市青年工業経営研究会・TAMA阿部経営塾・後継者育成塾など各種経営塾に参加し勉強してきている。</p> <p>第二創業については、三つの理念を立て取り組んでいる。</p> <p>② 「小さくてもいいからメーカーになろう」から「世界へ羽ばたくメーカーになろう」へ</p> <p>③ やりたいことと出来ることは違う。先ず一歩前進</p> <p>④ 変わるのはまず社長から 二代目として気を付けていること。 ・社内、社外に協力者を得る ・素直になる（人の意見を聞く） ・逃げない（強くなる） ・健康であり続ける（自己管理・運動）</p>

- ・常に前向き（ポジティブシンク）
- ・学び続ける（経営塾など）
- ・行動なくして成長なし

以上のことなどの話があった。

3. 会社見学

～株式会社リガルジョイント本社 見学～

4. 意見交換

- ・社長になられてから、組織を見直しされたということだが、シニアマネージャーというのはどのような役職なのか。
 - シニアマネージャーについては2名おり、1名は外部から引っ張ってきた人材でもう1人は元々技術者のトップをやられていた方で、何でも出来る方なのだが、その下が中々育ってこない状況で、これは悪い循環だと思い、人を育てるためにこの役職をおいた。
- ・話を聞いて新しいことにチャレンジしているとのことだが、成功されたのが自社製品を作りメーカーになったとのことだが、いくつかは撤退されているものもあって苦労もされているようなのだが、苦労されたことが足風になって新しいことはやめようと思ったことはないか。
 - 今付き合いのある企業が何で我々の企業を選んでいただいているかを考えたときに、お客様のニーズを聞いてそれに組み込んでいくことが大事だと思っているので、新しいことの取り組みをやめようとは思っていない。
- ・今取り組んでいる事業に固執するのではなくて、新しいことにチャレンジしていくというのは考えとしてはどうか。
 - 何もせずにお客様がふえて、今の事業が継続していけば何も問題はないのだが、もし何かが原因で現在の取引が無くなってしまったときは会社の経営にとって大打撃を受けることが考えられるので、事業を増やしておけばそういった時にでも、必要最低限の打撃で済むように新しいことを考えていくことは大事だと思う。
- ・社長自身で自分の仕事の洗い出しを行っているとのことだが、洗い出しをすることによってよかったことは何か。
 - 自分の役割を考えることによって、自分の目標についてもたてやすくなるのが良いと思う。
- ・海外展開に取り組む上で一番苦労されたことは何か。
 - 海外での交渉については、英語がメインになってくるので、語学の部分で苦労する時があるので、英語が堪能な人がいると良いと思う。
- ・現地の商社との取引等はあるのか。
 - 海外に法人をおく日本商社も結構あるので、そういったところと協力する場合もある。
- ・社内の人材育成方法で効果があったものがあつたら教えてもらいたい。
 - TAMA協会が開催したグローバル人材研修だとかニューリーダー研修などは効果があつたと思うので、支援機関等が開催している研修に参加させることが良いと思う。あとは、従業員から展示会等を見に行きたいという話があつた場合は、全て会社持ちの費用で行かせるようにしている。
- ・今はどこも人手不足と言われているが、御社では人材の採用を問題なく行っているか。
 - 当社においても数年新規人材は入ってきていない状況。社内では穴埋めの人材採用はしないとやっている。その分、効率化をして人がいなくな

った時のカバーが出来るように知恵を出して職場改善をするよう伝えている。自分の中では、改善案を用意しているのだが言ってしまうと従業員が育たないので、緊急の場合はその改善案を行おうと思っているのだが、今は従業員に考えさせるようにしている。

- ・相模原市青年工業経営研究会では昨年会長としてご活躍されていたが、そういった研究会の活動で、どのような所に留意して取り組むと良いか教えてもらいたい。

→このような研究会については、無駄だと思わず参加し自分の中でテーマを持って参加すると良いと思う。このような研究会は仲間を増やすことが出来るので、その仲間と本音で話すことが出来るような関係性を持つてることが大事だと思うのでさむかわ次世代経営者研究会の皆さんもそのような関係性を持って取り組みを進めれば良い会になると思う。

【研究会の様子】

